

平成 26 年 2 月 吉日

学校長 殿

MUFG・ユネスコ協会 東日本大震災復興育英基金 運営委員会
委員長 野口 昇(日本ユネスコ協会連盟理事長)
副委員長 三木繁光(三菱東京 UFJ 銀行特別顧問)

MUFG・ユネスコ協会 東日本大震災復興育英基金
平成 26 年度「奨学金プログラム」募集開始について(ご依頼)

余寒の候、教育事業と復興にむけてのご尽力に敬服申し上げます。

さて、株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループの子会社である株式会社三菱東京UFJ銀行と公益社団法人日本ユネスコ協会連盟は、「MUFG・ユネスコ協会東日本大震災復興育英基金」による、3.11東日本大震災の教育復興支援事業に着手し、その一環として、震災で保護者を亡くされた小学生、中学生、高校生への奨学金プログラムを運営しております。お蔭さまで本奨学金プログラムでは、累計1417人の遺児・孤児の方を支援することができました。

本育英基金では本年度も小学校に入学される児童のうち、東日本大震災で保護者を亡くされた児童を対象に奨学金給付事業を行います(新規募集)。またあわせて昨年度応募に間に合わなかった小学校、中学校、高校に通う児童・生徒の追加募集を行います。なお、本育英基金の新規募集は本年をもって終了いたしますので、必要とされている多くの方にご周知いただき、申請をいただくようご案内いただければと思います。

つきましては、貴校に本奨学金の対象となるお子さまが在籍していられしやいましたら、保護者の方にご案内いただき、併せて学校長のご推薦をお願い申し上げます。

まだまだ復興に向けて多くの課題が山積する中、私どもも微力ながら、被災地の子どもたちが当たり前の学校生活を取りもどせるよう、教育復興支援に力を注いでいく所存でございますので、引き続きご指導、ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。

敬具